

問1

ロシアのウクライナ侵攻により、小麦の価格が上がり、小麦粉の加工品を食べない人々が増え、同じ主食のコメの需要が拡大し、主なコメの生産国のインドや中国が輸出禁止にしたことで国際取引量が減少したから。

問2

佐藤さんが、ホヤの新たな料理を作って県内を販売して回ったことがきっかけとなり、今までホヤに見向きもしなかった人たちがホヤの魅力を再発見してくれ、需要に供給が追いつかなくなるように変化した。

問3

食料危機は、異常気象・大震災などの自然災害、ロシアによるウクライナ侵攻のような戦争、世界人口の増加、原油を原料とした資材や肥料・飼料の高騰などの複合的な要因によって引き起こされ、日本の食料供給構造を常に揺るがせている。この食料構造の脆弱性は、国内だけでなく海外の状況によっても顕著に表れる。そこでその脆弱性から抜け出し、食料を安定的に供給するために、日本の食料自給率を上げていく必要がある。食料自給率を上げるためには、様々な方法が考えられる。例えば、Bの文章に暑さに強い品種の導入の必要性がある。と述べられていたが、遺伝子組み換え技術などを活用して、亜熱帯化しつつある日本の気候に適合し、病虫害に強い品種に改良していくことが有効な手段だと考える。また、作物の収量を増やすためにドローンなどの精密機械を利用して作物の管理ができれば農業人口の減少をカバーできるように思う。もちろんこのことを実現させるためには、国や地方公共団体の政策や経済的な支援は不可欠だと思われる。